

こんにちは。円山動物園の「幅崎」です。動物園ではえさの時間や体験などを正門・西門付近、動物園センターの掲示板でお知らせしていますが、観察に夢中になってしまうとつい時間を忘れてしまいがちです。そこで役立つのが「園内放送」です。今回は、「情報→行動」で「こんな観察ができる」です。

円山動物園の熱帯動物館は昭和41年の完成、古ぼけて、おまけに動物のにおいも残り、正直なところあまり評判がよいとはいえません。しかし、



ここは目の前でライオンやアムールトラを観察することができる絶好のスポットなのです。



実際のお客様のつぶやきに「いつも寝てる

よね。」とありますし、「こら、ライオン、おきろ。」と怒鳴る子どももいます。でも、確かに左のライオンのように横たわる姿ばかり、トラのように顔を上げていればまだマシですね。ところが絶対にハズレのない時間があるのです。チャンスは「屋外の飼育場」と「飼育舎」の間を移動するときです。園内放送では、「エサ」という時もありますし「屋内に入ります」ということもあります。これを聞いたら、熱帯動物館に「ダッシュ」です。皆さんの脚力だと5分以内に到着できます。そこでは男たちの命がけの作業が行なわれているのです。



いつもは「田岡」さんですが、今日は週休日のため、(園の職員は、土日が休みではなく、その分を交代でとっている)代番の「川野」さんです。監視窓から外のアムールトラ「アイ」ちゃんを見つめます。飼育舎にエサを

セットしておき、中にはいるのを監視します。入った瞬間に連絡、別の人にゲートを閉めてもらうのです。そうです、猛獣の移動は大変なんです。でも、一足早く飼育舎に戻った「タツオ」さんとライオンの「ジェスパ」くん、自慢の「犬齒」でおいしそうにごちそうを食べていました。(食肉目 ネコ科)



ネコ科の動物

動物園ではいつも横たわっているイメージがありますが、野生の動物はいつえさがあたるかわからないので常に「エコ生活」をしています。ですから無駄な動きはありません。



ところで後ろ足の作りに注目してください。自分の脚と比べてみます。かかと、ひざ、股関節はライオンの足のどこにあたるでしょうか。ヒントは曲がっている場所とその向きです。次に接地している部分を見てみましょう。この部分は屋内で寝転

がっているときに見るとよく見えます。最後にこの立ち方をイメージしてやってみて下さい。何分立っていられますか？いつも横たわっている理由が一つわかりますよ。

これまでの写真も事務所の掲示板や作業場など一部を除いて「観覧通路」から撮影したものです。つまり、お客さんとして普通に動物園に行くと全く同じものを見ることができるのです。2ヶ月もいると園の皆さんも撮影ポイントを教えてください。でも、一般の「観覧通路」から見えないものにしたと思っています。つまり、このレポートと同じ観察を「生徒手帳を見せるだけ」で見ることができるのです。動物園ってお得だと思いませんか。(秘密の情報は、帰ってからの授業を期待して下さいね。) また、プリントで配信してきましたが、次号からはネットで配信になります。(仮HPは<http://www.hi-ho.ne.jp/hiba>です。皆さんだけの秘密の特典の予定でしたが、上田市長からのアドバイスでいろいろな学校の生徒にも発信することになりました。見られない人は学校に相談してくださいね。では、また。